

# 町政を問う

## 一般質問

**\*被災者に対する町の支援は  
\*合併後の地域衰退に歯止めを**



安部和子議員

**安部和子議員** 今回の豪雨による被災者に対する町独自の支援策は。

**松田町長** 今回は災害救助法の適用とならない

為、町税・国保税等の減免が独自の支援策となる。

**議員** 苦しい財政だが何とか支援ができないか。

**町長** そうしたいが、町の支給要綱にも全壊のみの該当となる。被災者の方が困らないようサポートをする。

**議員** 合併して三年になるが、行財政改革の進捗

状況も順調といえない中、地方の弱体化が見える。時代の動向を踏まえ

新たな視点で全体を見直す必要があるのでは。

**町長** 合併後、財政状況は一向に良くならない。国の改革により約1億5千万円の財源が削減されたと試算する。まちづくりの基本は見直せないが、事業計画の優先順位等、取捨選択の必要性を感じる。

**議員** 少なくとも一極集中は避けるべきだ。軌道修正すべきところは修正し、地域に活気が出るような施策を考えるべきだ。

**町長** 分庁方式は取らないが、公的団体の適正配置等はどうかなど思案中だ。地域で賑わいがかもし出されるよう、又、多少無理をしても定住要件が満たされるよう努力する。



にぎわう秋まつり

**\*行財政改革による  
隠岐の島町の将来像は**



高宮陽一議員

**高宮陽一議員** 合併して三年が経過しようとして

いるが行財政改革の結果が見えてこない。改革の状況を明らかにして、隠岐の島町の将来像を示すべきである。町民の皆さんからは「これからの隠岐はどうなるのか、私達の地域はどうなるのか」と不安な声ばかりである。行財政改革の成果と隠岐の将来像をどのように考えているか。

**松田町長** 平成十八年度の行財政改革の成果額は、3億4500万円と試算しているが、中でも

顕著なものは人件費の2億6000万円である。しかし行財政改革の効果よりも、国県の行革によるマイナスの影響が上回る状況であり、今後も引き続き改革を行っていく。

**議員** 改革を行うのはいつの時代も一緒だ。「財政が厳しいから辛抱してほしい」だけではどうにもならない。改革によって、これからの隠岐の島町がどうなるかということ町民の皆さんに示すべきであるが、町長の率直な考えはどうか。

**\*豪雨における町の救難対応は**



吉田十二議員

れについては。

**松田町長** 本町の災害警戒本部規程により、三十一日午後八時三十分自動設置された。

**議員** 避難所の開錠と職員配置について、学校及び集会所は通常施設としてあるので鍵の管理者が

**吉田十二議員** この度の豪雨における町の救難対応で警戒本部の設置の遅

不明であり、町職員を配置するべきだ。

**町長** それぞれの避難施設の開錠や職員の配置をしたものの、豪雨が想像を絶する状況から時間的に遅れたことは反省すべき事項。今後の災害対応に活かして行きたい。

**議員** 銚子ダム管理事務所との連携について、避難勧告は早めにしたほう

町長 私も出来ればそのことが申し上げられるのが一番良いのだが、国県の厳しい状況の中で、私達も精一杯行革に取り組んでいかねばならないということである。



が、安全に避難が出来るので、ダム事務所との連携を密にした避難指示が必要ではないか。

**町長** 関係機関への通報が町に入るので、町はこの通報の内容により判断し、避難勧告を出した。

**議員** 町の間伐事業の契約内容は。

**町長** 切り捨て間伐で行っており、災害防止の

観点から、枝払いや玉切を義務付けている。

**議員** この度の災害を教訓に「隠岐の島町総合防災マニュアル」を作成し、防災訓練の実施を。

**町長** 家庭配布用の「防災マニュアル」は現在作成中であり近日中に配布の予定をしている。

## \*水防対策を見直せ



是津輝和議員

**是津輝和議員**

本町は、八月三十日から三十一日にかけて、記録的な豪雨に襲われ、甚大な被害がでた。原因は大雨だけだったのか、今後の為にも検証が不可欠だ。原田地区で八尾川の橋に流木やゴミが詰まって増水

溢し、周辺の家屋等に被害が発生した。橋の構造を沈下橋等に変えるべきではないか。

**松田町長** 沈下橋も含めて橋の構造について県と協議して改善を図りたい。

**議員** 雨がピークになるまでに、銚子ダムの水位を下げる操作はなされたのか。

**町長** 前もつての操作が可能ならば、県にそのように申し入れたい。  
**議員** 大雨の度に浸水す



銚子ダム

る地区に、原田と見々津がある。護岸の補強や、強制配水装置等の設置が必要ではないか。



流木がひかかった橋

## \*自然を活かした(まちづくり)を推進せよ



米沢寿重議員

**米沢寿重議員** 本町を取り巻く環境が厳しさを増す中、重栖干拓地に飛来

**町長** 両地区については、護岸の補強や排水路の方向の見直し等を、県と協議していきたい。

**議員** 今回は、幸いにも人的被害が出なかったが、災害弱者の独居老人や、高齢者世帯に対するサポート体制を地区毎に整備すべきでは。

大久地区では早速検討が試されていると聞く。  
**町長** 今は、民生委員にお願いして確認してもらっている。今後は地域が中心となつてのサポート体制を地域と一緒に検討していきたい。

した「コウノトリ」は一点の光を見る思いがする。豊岡市では「コウノトリ」を核とする先進的な取り組みを行っている。豊岡市と交流を図りながら自然環境を軸に、地域経済と共鳴する「まちづくり」を目指すべきである。

**松田町長** 豊岡市は自然との共生の先進地であり、交流の意義や視点を整理する。

**議員** 安心・安全をアピールする米や野菜のブランド化等、環境に配慮

した農法の取り組みは。  
**町長** 地産地消、藻塩米を推進し、安心・安全は島内産農産物をアピールしていく。

**議員** 津井の池周辺は昔ながらの自然が残されており、観光資源として有効に活用すべきである。

**町長** 動植物の生態や自然環境の特性等を調査し、今後の課題とする。

**議員** 今、本町が取り組んでいる新エネルギーの創出、環境型企業誘致、エコツーリズムの展開、ゴミの再資源化等はいずれも環境と経済が深く関わった取り組みである。自然環境再生と地域経済の活性化の道標となる「環境・経済戦略」を策定し、地道な取り組みに直ちに着手すべきである。

**町長** 既存の計画や関係する第一次産業の施策点検を行い、戦略プロジェクトも検討していく。

### コウノトリのすむ環境

